

尾張版



ポース
富田信子
日洋会

ニュース、情報は下記へ
社 会 部
052-231-1650・5919
Eメール
shakai@chunichi.co.jp

一宮 総局 〒491-0851
一宮市大江1-13-13
0586-72-4545 Fax72-5035
津島通信局
0567-28-2157 Fax28-2158
稲沢通信部
0587-32-8800 Fax23-8035
江南通信部
0587-54-4001 Fax54-9622
蟹江通信部
0567-95-3022 Fax95-3000
春日井支局
0568-81-2036 Fax81-2797
犬山通信局
0568-61-2612 Fax61-2613
小牧通信局
0568-72-1177 Fax72-6530

中日新聞へのご意見は
読者センターへ
052-221-0800 Fax221-0819
Eメール
center@chunichi.co.jp
掲載写真を購入希望の方は
最寄りの中日新聞販売店へ

いのちのかけこみ寺
縁切り供養
大法寺
費用、お経、供養、墓じまい、仏壇じまい
何でもご相談ください
0567-28-7319
愛西市稲葉町江頭10番地
樹木葬 大法寺 検索

人気駅弁食べて旅気分



おいしそうに釜飯を食べる高齢者ら＝一宮市萩原町東宮重の新和楽荘で

つかの間の旅行気分には、お年寄りたちの笑顔が広がった。一宮市萩原町東宮重の高齢者福祉施設「新和楽荘」で夕食に出されたのは、駅弁の釜飯。遠出が難しい入所者たちのために、職員たちが長野県まで買いに行った。

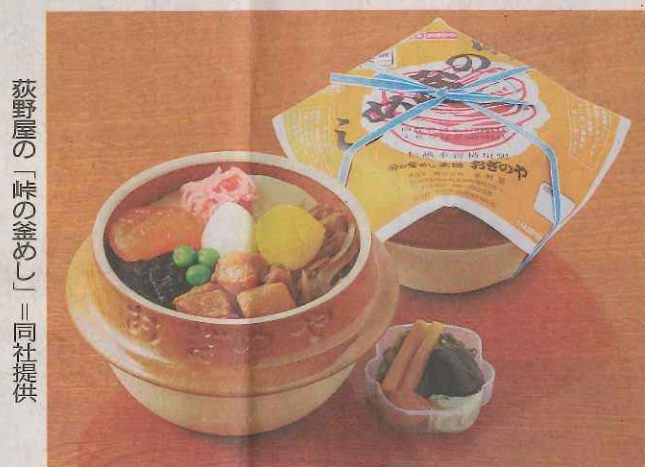
一宮の高齢者施設「新和楽荘」

二十一日夕、新和楽荘の「荻野屋」(群馬県)の人食堂で、入所者たちの前に「気駅弁「峠の釜めし」」が置

かれた。「私、釜飯大好き」「おいしいなあ」。夢中でご飯を頬張り、具のタケノコや鶏肉を一口ずつじっくりと味わう。この日は、特別に飛騨地方のどぶろくも出した。顔を少し赤らめて、ほろ酔い気分を楽しんでた。

職員、長野に買い出し 入所者「おいしい」

「峠の釜めし」は、陶製の器で食べる昔ながらのスタイルで楽しめることから選んだ。職員自らハンドルを握り、当日に長野県諏訪市の荻野屋諏訪店まで、往復約六時間かけて買ってきた。同店の戸田友広店長も「遠方からこのように利用していただけるのは、大変うれしい。コロナが収まったらぜひ来てほしい」と感謝した。



荻野屋の「峠の釜めし」＝同社提供

自身も長野県まで購入に行った施設長の鈴木英二さん(65)は「普段よりも皆さんの表情がにこやか。楽しんでもらえたと思うので、今後も続けていきたい」と話した。新和楽荘を運営する法人の別施設でも、駅弁を提供していく予定。

ボウリングで世代交流

稲沢 岩倉市民ら50人楽しむ



楽しそうにボールを投げる参加者ら＝稲沢市の稲沢グランドボウルで

岩倉市民らが参加する「市民ボウリング大会」が二十五日、稲沢市の稲沢グランドボウルで開かれた。子どもから高齢者まで約五十人が、思い思いに競技を楽しんだ。

地域住民の交流を促そうと、市スポーツ協会が毎年開いている。新型コロナウイルスの影響で中止が続いており、三年ぶりの開催になった。市民たちは十六のレーンにずらりと並び、二ゲームの合計点数で争った。初対面同士でも同じレーンで仲良くプレーし、ストライクやスパアを取ると大きな拍手が上がった。初参加で優勝した大野友治さん(60)は「今日は調子が良かった。来年は調子よく出たい」と話した。

御朱印集めて津島をぶらり

18寺社で「てら・まち御縁結び」



来場者に御朱印を手渡す寺関係者＝津島市瑞穂町の龍淵寺で

津島市内で御朱印巡りを楽しむ「第十四回津島てら・まち御縁結び」が二十五日、同市の十八カ所の寺社を会場にあり、参加者が尾張津島天王祭をテーマにした御朱印などを求めて歩いた。

同市瑞穂町の龍淵寺では、天王祭に登場するちようちんを飾ったまきわら船とかわいとお地藏さんを描いた御朱印を授与。住職の服部光志さん(60)が、来場者に手渡していた。三重県四日市市の男性(60)は「いろいろな種類の御朱印があつて集めるのが楽しい。今回も限定の御朱印を集めた」と話した。

天王祭をテーマにした限定御朱印は、六カ所の寺院で用意した。このほか、各寺ごとに、さまざまな種類の御朱印があり、観光客らが徒歩や自転車などで古い街並みなどを巡った。

BOAT RACE **こねの**

木曾川河畔やトラ描写 ガラス絵など45点展示

3年ぶり、一宮版画研究会



一宮市の洋画家堀尾一郎さん(60)が教える絵画教室「一宮版画研究会」の三年ぶりの展示会が、市玉堂記念木曾川図書館で開かれている。二十六日まで。

新型コロナウイルス感染症の影響で昨年まで二年間中止となった以外は毎年開かれ、四十回目。堀尾さんと生徒たちが、ガラス絵や版画など約四十五点を出展する。ガラス絵は、ガラス板の裏面から絵の具で色を着けて描く技法で、明るい色合いが特徴だ。



村上町長(左)に自作の絵画を贈った竹内さん＝大治町役場で

日展会友の竹内さん大治町に絵画を寄贈「八剣社描いた水彩画 大治町在住で、日展会友の竹内恵さん(60)が、自作の絵画を同町に寄贈した。竹内さんは歴史ある美術団体の一つ「白日会」の会員で、同町西公民館の絵画教室で講師も務める。寄贈したのは、地元の「八剣社」のイチヨウの木を描いた水彩画。少しづつ葉が散り、木の下も黄色く染まりつつある様子を、10号大のキャンバスに色彩豊かに描写している。竹内さんから寄贈の申し出があった。

逮捕容疑 酒気帯び 速捕 稲沢 法違反(酒) 疑いで、稲 品配送会社 容疑者(53) だ。

渡された。 展示して は「古い町 鮮やかなイ に感動した の素晴らしい たら」と語

中日写協